

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授	折田 久幸	革新的プラスチック資源循環プロセス技術開発業務委託	国立研究開発法人 新エネルギー・ 産業技術 総合開発機構
講師	野口 巧巳	環境配慮型コンクリートの耐久性評価および向上策の検討	西松建設(株)
教授	鈴木 拓也	八戸市地盤沈下観測井管理観測業務委託	八戸市
教授	田中 義幸	Holistic Genomic Approach to Asia-Pacific Marine Biodiversity	東北大学
准教授	鮎川 恵理	女子中高生の理系進路選択支援プログラム めぐそう・はたらく理系女子	国立研究開発法人 科学技術振興 機構(JST)
任期付 研究員	赤松 笙太	青森県量子科学センターの装置による量子ビームを活用した人材育成に係る補助業務	青森県

② 研究助成
令和6年度

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授	星野 保	菌類に関する市民向け公開講座および中高生による研究発表の実施事業	公益財団法人 青森学術 文化振興財団
講師	塩入 彬允	八戸工業大学「生涯スポーツとしての卓球講座」事業	公益財団法人 青森学術 文化振興財団
准教授	東方 悠平	東南アジアのアーティストとの交流を通じ、文化活動を通じたダイバーシティ社会の推進を目的とする事業	公益財団法人 青森学術 文化振興財団
教授	高瀬 慎介	寒冷地橋梁の劣化損傷実態調査と修繕対策の検討	青森県建設 技術センター

5 学 内 助 成

令和6年度

① 特別研究助成費（プロジェクト研究）

職名	研究代表者	研究課題名	助成金額
准教授	浅川 拓克	地域の救急医療を支えるドクターカー等の事故を防止するための、ユニバーサルデザインの視点における緊急車両のサイレン音、警光灯等に関する研究開発	280 千円

② 特別研究助成費（特定研究）

職名	研究代表者	研究課題名	助成金額
教授	杉本振一郎	癌の温熱治療高度化のための電磁界－熱伝導連成解析システムの研究	500 千円
教授	嶋脇 秀隆	GOS 電子源の光照射下における電子放出過程に関する研究	500 千円
教授	小久保 温	持続的運用可能な詐欺脆弱性診断アプリの開発	444 千円
准教授	安部 信行	視覚障害者の安全で安心な障害物知覚及び住宅内誘導のための反響体の開発・その2 －反響体の実現化及び視覚障害者用触覚型建築模型の開発に関する総合的研究－	500 千円
助教	桶本まどか	アバタの構成要素が印象形成に与える影響 －自己実現度の評価法に関する研究－	500 千円
講師	宇野あずさ	再活用を考慮した木造建築物解体古材の品質評価に関する研究	450 千円
教授	伊藤 智也	環境情報と研究施設の可視化技術：3D プロジェクションマッピングと VR の応用	500 千円

③ 特別研究助成費（しまもり SDGs 実践プロジェクト）

職名	研究代表者	研究課題名	助成金額
教授	金子 賢治	しまもり地区の活性化にむけた SDGs 達成状況と地域課題の調査	1,610 千円
教授	田中 義幸	しまもりの生物多様性をモニターしよう！	992 千円
教授	高瀬 慎介	植物由来の再生可能エネルギーに関する研究	1,414 千円
教授	星野 保	島守地区の無農薬米を使用した日本酒製造	1,000 千円
教授	星野 保	島守地区の食文化、特に発酵食品に関する調査	700 千円
准教授	大室 康平	見てさわって学ぶしまもり SDGs	1,100 千円
教授	黒坂 貴裕	継承する島守の建築と技術～島守建築史の構築～	830 千円

④ 大型装置・設備保守費

職名	研究代表者	研究装置名	助成金額
教授	迫井 裕樹	寒冷地建設材料の耐久性試験研究装置	913 千円
教授	迫井 裕樹	寒冷地コンクリート材料の高耐久化に関する研究装置	1,133 千円
教授	迫井 裕樹	寒冷地建設材料の複合環境劣化装置	1,067 千円
教授	鈴木 拓也	環境ホルモン分析装置 保守点検	1,100 千円
教授	竹内 貴弘	寒冷地施設の機能向上に関する研究装置	1,045 千円
教授	金子 賢治	地盤の汚染対策に関する研究装置	1,100 千円
教授	金子 賢治	高性能デジタル画像入力解析システム付き振動試験装置	1,266 千円
教授	鶴田 猛彦	質量分析計 GC/MS	844 千円
教授	鶴田 猛彦	ICP 発光分光分析装置	513 千円
教授	小林 正樹	機能性材料表層の構造・状態解析システム	897 千円

⑤ 教育改革支援経費助成

職名	研究代表者	研究課題名	助成金額
准教授	浅川 拓克	CN 教育に対応した人材育成のための自動車センターへの高度スキャンツールの導入	900 千円
教授	岩見 一郎	本学高年次英語教育を支える ESP の指導実践と成果検証：英語文献読解力と英語プレゼンテーション能力育成をめざして	600 千円

⑥ 戦略的社会連携推進費

職名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
教授	迫井 裕樹	JAMSTEC 不動テトラ	「深海環境がセメント硬化体の特性に及ぼす影響」 内容： 深海開発において、有用な建設材料の一つとして、地上および浅海域での実績の多いセメント系材料の利用が期待されているが、深海という特殊環境がセメント系材料の力学的特性・耐久性に及ぼす影響については未知な部分が多いのが現状である。2018 年度より、JAMSTEC、不動テトラと共同して進めており、実環境に暴露されたセメント硬化体の化学的変化、力学的特性変化について検討を行うものである。	1,430 千円
教授	竹浪 二三正	八戸工業大学 第一高等学校 八戸工業大学 第二高等学校	「附属高校における入学前指導（数学）」 内容： 入学が決定した高校生に対して、各校の冬季休業期間を利用し、出張講義の講習形式で数学の指導を実施。大学での学習においても必要とされる数学の基礎やその他を指導し知識の定着を図る。	72 千円

職名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
教授	石山 武	八戸工業大学 第一高等学校	「能動的教育を強化した接合型高大連携の 取り組み」 内容： 高校3年生を対象に研究テーマを設定し、 大学教員・高校教員が連携しながら指導す るとともに、学部4年、大学院生も「課題 研究」指導を実施。 研究テーマごとにデータ整理や理解した成 果をまとめ、高校生のキャリア形成の一助 となることを目指す。	500 千円
書記	黒滝 泰世	八戸工業大学 第二高等学校	「令和6年度八戸工業大学第二高等学校 HIT - SSP (サマーサイエンスプログラム) 実施」 内容： 進路選択を見据えた高校生に大学での学 びを体験してもらう目的で実施を予定して いる。生徒が進路を考える上で、選択肢を 広げるきっかけとなることを期待すると ともに、本学の教育研究活動を周知する ものである。令和6年度は8月1日～2日 の2日間にわたり開催。7部局の各 テーマに分かれ、高校生が参加した。	100 千円
主事	中村 優孝	青森県立八戸 工業高等学校	「令和6年度八戸工業高等学校 ミニ オープンキャンパス実施」 内容： 八戸工業高等学校との連携協定により、 1年生の希望者を対象にミニオープン キャンパスを開催し、生徒が進路を考 える上で、大学進学という選択肢を 広げるきっかけとなることを期待 するとともに、本学の教育研究活 動を周知するものである。令和4年 度の開催中止により、令和5年度 は、1年生希望者のほか2年生希 望者も対象としたミニオープン キャンパス（学内見学、体験 授業・実験、質疑応答）を開催。	154 千円
講師	宇野あずさ	さくら幼稚園	「さくら幼稚園×八戸工業大学 見て さわって感じるアート&サイエンス 事業」 内容： 「見てさわって感じるアート&サイ エンス事業」は、実験や科学工作 などの体験を通じて子どもが科学 への関心や好奇心を持つ機会を 創出する事業である。 令和6年度は幼稚園・工業大学の 連携強化及び学外への情報発信 を重点に置き活動を実施。 ・アート&サイエンスによるイ ベント企画・教材の提案 （大学施設・設備を活用したか らだあそびの提案や共同制作活 動の実施） ・事業に関する情報発信方法の 検討	500 千円

職名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
教授	折田 久幸	IoTワーキンググループ (HOPに加盟する研究会)	「八戸工業大学IoTワーキンググループ (HIoT-WG)」 内容： 国連の「世界を変えるための国際的な目標SDGs」と「脱炭素社会」を踏まえて、温暖化対策としてIoT/IT/AI/DXを活用して三八地域の水産業、農業、畜産業、林業、加工業を活性化させる方策を検討している。農業や加工業でのIoT活用についても検討するとともに、公募事業獲得の戦略を検討。	300 千円
教授	星野 保	SDGs研究会 (HOPに加盟する研究会)	「SDGs研究会 令和6年度活動」 内容： 東北地区を中心にSDGs関連の取り組みを分析し、本学プロジェクトの推進を支援し、助言を与える目的として活動。また、企業・行政・メディアの意向を確認し、研究者との窓口を目指して活動している。令和6年度は、日本菌学会八戸大会における中高生発表、INS SDGs研究会派遣・発表、しまもりSDGs実践プロジェクトと連携した日本酒造り体験・味噌玉製造実習、郷土食調査等を実施。	370 千円
教授	鮎川 恵理	HITリケジョ L A B O (HOPに加盟する研究会)	「北東北地域の女子中高生のための理系進路選択支援事業」 内容： 令和5年度採択された科学技術振興機構次世代人材育成事業「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に採択された「めざそう、はたらく理系女子」プログラムの実施・推進 1) 女性技術者や理系出身女性ロールモデルへの推薦や講演の実施に関する、企業、官公庁などへの協力依頼 2) 青森県関係者を中心とした多業種の女性の理系出身者間のネットワークの構築 3) 会員の理解度の向上のための研修会、シンポジウム等	400 千円
教授	小玉 成人	情報教育研究会 (HOPに加盟する研究会)	「情報教育研究会 令和6年度活動」 内容： 小中高教育機関の先生方との連携によりプログラミング及び情報教育に関する知見共有の仕組みを構築し、地域のIT教育の底上げと横展開の拡大を目標として活動を実施。新たに全国の中学・高校向けのプログラミング・オンライン講座などを企画し、八戸から情報発信することで青森県のデジタル度のイメージ向上にも取り組む。	300 千円

職名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
教授	阿波 稔	青い森の橋ネットワーク(HOPに加盟する研究会)	<p>「令和6年度 青い森の橋ネットワーク勉強会」</p> <p>内容： 青森県内の橋梁の長寿命化について関心を持つ学識経験者及び技術者が、橋梁に関わる知識を深め、学術的知見の提供、技術の普及、承継と人材育成を通じて、地域社会の持続可能な発展に貢献することを目的とし勉強会を開催。(令和7年3月3日勉強会開催)</p> <p>1. 道路メンテナンスに関して 2. 青森県の橋梁長寿命化について 3. 高速道路の橋梁修繕状況について 4. 落橋防止システムについて 5. 桁にアンカーを定着しない耐震補強工法 6. DON'T DIG 工法の紹介</p>	100 千円
教授	桐原 慎二	青森ブルーカーボン研究会(HOPに加盟する研究会)	<p>「青森ブルーカーボン研究集会」</p> <p>内容： 海藻草によって海洋中に固定される炭素であるブルーカーボンは、大気中の二酸化炭素の吸収源として注目されているほか、ブルーカーボン・クレジットの取引を通じた漁業振興や環境保全への活用が期待されている。</p> <p>研究集会では、専門家、行政担当者、漁業者等との意見交換などを通じて、藻場や海藻養殖による二酸化炭素吸収量及び生物多様性の評価手法について論議するとともに、ブルーカーボン・クレジットを活用した地域貢献策を検討し提案。</p>	400 千円
教授	金子 賢治	(株)田名部組	<p>「八戸工業大学×株式会社田名部組 産学連携事業 はちのへ「まち」プロジェクト」</p> <p>内容： 産学連携事業「八戸工業大学 番町サテライトキャンパス」における、本学の公開講座やセミナーを開催のほか、中心街における学生の活動、市民の交流の拠点とするべく運営。令和6年度は、公開講座やセミナー、フォーラム、学会、卒業展示等を開催するほか、各種イベントや地域への貸し出しを行い、八戸市中心市街地活性化に取り組んだ。館長就任に伴い活動面・集客面ともに活性化が図られた。</p>	2,500 千円